

令和5年度 卒業時アンケート (回収率100%)

卒業する3年生に、毎年学校評価をしてもらっています。

I 教育課程および学習環境に関する学生からの評価

5非常に当てはまる 4当てはまる 3どちらともいえない 2当てはまらない 1全く当てはまらない

	評価項目	平均点
1	教育理念・目的は学校の特徴や目指す方向を示している	4.30
2	教育理念・目的は、看護師がもつべき資質を明示していると思う	4.51
3	教育目標は、看護実践に必要な能力を育成する内容が設定されている	4.57
4	教育目標は、学習者の成長を促すための内容が設定されている	4.60
5	卒業時においても、教育目標は、具体的な方向を示し実現可能なものと思う。	4.57
6	「卒業生に期待する行動」は、社会に対する看護の質を保证するために、卒業生がもつべき資質として妥当な内容である	4.57
7	「学生便覧」に提示されたシラバスや学則・規程の内容は、学習への動機づけや支援になる。	3.75
8	「学生便覧」に示されたシラバスの内容を実践されていた	4.33
9	評価基準と方法が書面で提示され評価は公平性妥当性があった	4.18
10	入学後の学修が継続できる支援体制が、多角的に整えられている。(健康診断、ワクチン含む、カウンセリング・奨学金制度)	4.57
11	学生が活用しやすいように学習環境を整えられている。(実習室・看護技術教材・図書室・情報室・更衣室・教室などの環境)	3.72
12	学校教職員は、学習継続のためにいつでも相談でき、助けになっている	4.18
13	保護者への年度末の情報提供や必要時の面談は、あなたへの学習支援や協力につながる。	3.93
14	外部講師は、担当科目を教育するための資質があり必要な学習ができる	4.21
15	専門領域の講師(医師・Ns・コメディカル)は科目を教育する資質があり必要な学習ができる	4.36
16	専任教員は、担当科目を教育する資質があり必要な学習ができる	4.39
17	臨地実習施設は、看護実践するための学習ができるよう環境が整えられている	4.30
18	臨地実習の指導者は、学校の教育理念・目的・目標を理解し、看護実践するための学習ができるよう支援している	4.27
19	患者の権利尊重・個人情報管理など、倫理性を踏まえた実習環境が整えられている	4.48
20	倫理行動につながる基本的な考え方を踏まえ、学生への指導が実践されている	4.27
	平均	4.30

